

# 【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

## 流域市町村防災担当職員を対象とした研修を実施

- 戦後最大の洪水となった昭和56年8月上旬洪水以降、流域全体に被害が及ぶような大規模な洪水が無いまま30年以上が経過しており、大規模水害を経験した市町村職員の多くが定年を迎える等、大規模水害への意識が風化する一方、近年の気候変動に伴うゲリラ豪雨の増加や、今年8月の1週間に3つの台風が北海道に上陸するといった異状気象など、大水害の危機が高まっている。
- 水害対策に関する技術力・対応力向上を図るため、**天塩川上流の減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」**に位置付け、天塩川治水促進期成会(事務局:名寄市)と北海道・気象台・北海道開発局等が連携し、**天塩川流域 豪雨災害対策職員研修**を実施。

日 程 :平成28年10月18日(火)～19日(水)  
名寄市にて開催

参加者 : 11市町村から約40名が参加のほか、北海道、気象台、開発局等からも参加

### 研修内容

10月18日

- ・防災気象情報に関する基礎知識(講師:気象台)
- ・防災に関する基礎知識(講師:開発局)
- ・河川情報に関する基礎知識(講師:開発局)
- ・北海道の防災体制等について(講師:北海道)

10月19日

- ・豪雨災害の対応について(講師:E-TReC)
- ・豪雨災害グループワーク(災害図上訓練)



### 【アンケート結果の抜粋】

- 理解・習得したものを職場で活用出来る(97.7%)
- 研修内容の満足度(100%)

### 【今後について】

- アンケート結果等を基に、豪雨災害対策職員研修に関するフォローアップを実施し、内容の更なる充実を図り、研修を継続。



豪雨災害対策職員研修の実施状況

## 【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

### 水害リスクの高い箇所の共同点検を実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が低い区間や水衝部等の水害リスクの高い箇所について、水防活動の効率化及び水防体制の強化を目的に、自治体等と共同点検を実施。
- 関係機関と連携して今後も継続的に実施。



【名寄市】 2016. 8. 2



【士別市】 2016. 8. 2



【下川町】 2016. 8. 2



【美深町】 2016. 8. 3



【音威子府村】 2016. 8. 3



【中川町】 2016. 8. 3

# 【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

## 小・中学生を対象とした防災教育を実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、天塩川上流水防学習会を和寒町立和寒小学校にて実施し自主防災意識の向上を図った。
- より効果的な学習会となるように流域市町村と連携して今後も継続的に実施。

- ・目的 : 大雨等に伴う災害の危険を理解すると共に、災害時の状況を体感することで、自主的な避難行動に結びつける
- ・主催 : 和寒町、名寄河川事務所
- ・協力 : 旭川地方气象台、(独)土木研究所寒地土木研究所道北支所
- ・実施日 : 平成28年9月9日
- ・実施箇所 : 和寒町立和寒小学校
- ・参加者 : 4年生 28名、5年生 23名、父兄3名、教員 4名
- ・実施内容 : (学習会)  
「大雨が降ったら、みんなどうする。」  
「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」  
(体験学習)  
「降雨体験」「流水体験」「地下浸水体験」「川の模型実験」



学習会実施状況



降雨体験



地下浸水体験



川の模型実験

### 【アンケート結果の抜粋】

- ・災害から身を守るには、すぐに安全な場所に避難する必要があることを学んだ。テレビやラジオなど大雨の情報を知る方法がわかったので、気象情報に気を付けて見るようになる。
- ・体験学習は児童が積極的に参加し、水害の危険性を学ぶことができ貴重な体験ができた。また、学習会についても和寒町にあわせた資料となっておりとてもわかりやすく学べた。

# 【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

## 関係機関・地域住民等を対象とした水防災に関する訓練を実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、天塩川上流水防研修会を士別市町内会を対象に実施し、自主防災意識の向上を図った。
- より効果的な研修会となるように流域市町村と連携して今後も継続的に実施。

- ・目的：講話、災害図上訓練(DIG)、体験プログラムを通じ、近年の水害や土砂災害等を踏まえ、その際にとるべき行動を再確認することを通じ、水防意識や地域防災力の向上を図る
- ・主催：士別市、名寄河川事務所
- ・協力：旭川地方气象台、(独)土木研究所寒地土木研究所道北支所
- ・実施日：平成28年8月20日
- ・実施箇所：天塩会館(士別市東2条北8丁目)
- ・参加者：北光(東部)・九十九地区町内会17名、士別市長ほか市職員
- ・実施内容：(体験学習)
  - 災害弱者に対応した避難シミュレーション、川の模型実験(座学)「災害から身を守るために」【旭川地方气象台】(洪水時図上訓練)
  - 地域特性の把握、情報収集と避難準備、災害時の避難行動



士別市長 開会挨拶



災害図上訓練



避難シミュレーション



川の模型実験

### 【アンケート結果の抜粋】

- ・温暖化により北海道も本州並みの豪雨が発生することも考えていなければいけない。普段の生活の中で防災について気をつけたい。
- ・昔から住んでいる人はそれなりに地域特性を把握しているが、移り住んだばかりの人にも分かるような配慮が必要。

# 【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

## 迅速な氾濫水の排水を行う為の操作訓練を実施

■天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、水害時における迅速な氾濫水の排除を行うため、災害協定業者に対して、排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を実施。今後も継続的に実施。

排水ポンプ車操作訓練 実施回数：7回(平成28年度)



ホース接続



ポンプ投入



排水状況



全景

排水ポンプパッケージ操作訓練 (実施日：平成28年7月)

○排水ポンプパッケージ

寸法：1.6m×1.3m×1.8m

質量：650kg

排水能力：10m<sup>3</sup>/min

※一般的な排水ポンプ車は30m<sup>3</sup>/mi

ポンプ：φ200mm、

質量24kg×2台

揚程：10m



訓練実施状況